

「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の

松井久子監督作品

何を怖れる

フェミニズムを生きた女たち

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？
次の世代に何を伝えようとしているか？
「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

闘った、生きた、老いた：
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。

上映後に松井監督による、「監督トーク」を予定しています。作品に対する思いや女性たちの未来について、みなさんと語りあいます。

松井久子
Hisako Matsui
映画監督/プロデューサー



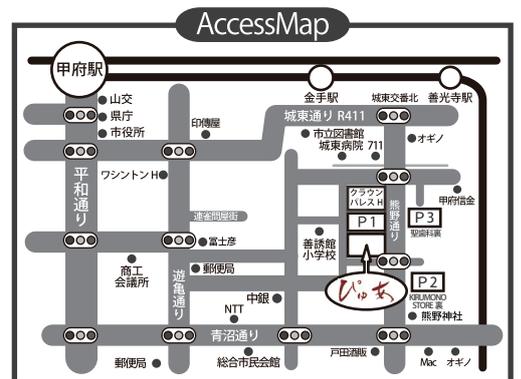
(ブルーレイ上映・上映時間 111分)

平成 28 年度ぴゅあ総合普及啓発事業・男女共同参画推進月間記念事業
この事業は、山梨県女性団体協議会との共催事業です。

主催・お申込み
山梨県立男女共同参画推進センター
ぴゅあ総合
TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077
〒400-0862 甲府市朝気 1-2-2
sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp

「ぴゅあ総合フェイスブック」で検索！
「いいね」すると最新情報が受け取れます。

無料託児あります。
6か月～就学前
3日前までに
ご予約ください。



「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督作品



上映会 + 監督トーク

映画 何を怖れる〜フェミニズムを生きた女たち

出演：池田恵理子 井上輝子 上野千鶴子 加納実紀代 桜井陽子 高里鈴代 高橋ますみ 滝石典子

近山恵子 中西豊子 田中喜美子 田中美津 樋口恵子 米津知子

監督：松井久子 製作：(株) エッセン・コミュニケーション 協力：特定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃、彼女たちは20代、30代だった。おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい、「NO」と叫んでいた。あれから約半世紀の間、女たちは、自己と社会を肯定すべく、強い意思をもって生きてきた。老年期を迎えた今もなお、みずみずしくフェミニズムを生きている。彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたのか？次の世代に何を伝えようとしているのか？「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督がフェミニストたちの証言でつづる、ドキュメンタリー映画です。上映後、監督自信が作品を語る「監督トーク」も予定しています。

2016. 6月25日(土) 13:00 ~ 16:00

① 上映会 13:05 ~ ② 松井久子監督トーク 15:05 ~
山梨県立男女共同参画推進センター・ぴゅあ総合 大研修室
鑑賞無料。(要事前申込み TEL:055-235-4171)

主催：山梨県立男女共同参画推進センター・ぴゅあ総合 共催：山梨県女性団体協議会